USB 2.0
HARD DISK UNIT

LHD-EAxxU2シリーズ●
LHD-HAxxU2シリーズ●

HDユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目　次

必ずお読みください

取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
・本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。**

■表示について

・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

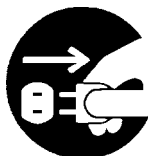
警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。

丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠ 警告

●万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

●異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

●分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

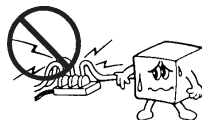
●正しい電源で使用してください。

ACアダプタは、AC100Vのコンセントに接続してご使用ください。

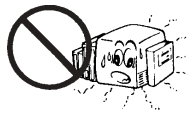
●ケーブル類を大切に。

USBケーブルまたはACアダプタのケーブルは破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。

注意

●ACアダプタは、なるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。

●ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。

注意

●本体の周りを本などで覆わないで下さい。過熱による火災、故障の原因となります。

●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。

●本製品を長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

ご使用の前に必ずお読みください。

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが、弊社ホームページよりユーザー登録を行っていただくよう、お願いいたします。
本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 **長野県伊那市美すず六道原**8268 **ロジテック株式会社　テクニカルサポート**
TEL. 03-5326-3667
※祝祭日を除く月～金曜日　9:30～12:00、13:00～17:00

１．使用許諾

(1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
(2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

２．著作権

(1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
(2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

３．規制

(1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

(2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
(3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の１台の端末から他へ電送してはならないものとします。

４．保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行ないます。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

(1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から１年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限ります。
(2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来たすような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限ります。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

５．免責

(1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
(2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
(3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

６．その他

(1) 弊社は、ユーザー登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
(2) 本契約に関しての紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定／接続方法、機能／仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

①本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

②本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

③本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

④本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

⑤本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

⑥本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

⑦弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

⑧本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

⑨本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

付属品の確認

○ HD ユニット .... 1 台
○ AC アダプタ .... 1 個
○ USB ケーブル（USB 2.0 High-Speed 対応：1 m）........................ 1 本
○縦置き用スタンド .... 1 セット
○横置き用ゴム足.. 1 シート
○「LogitecWare」CD-ROM .... 1 枚
○ハードウェア仕様一覧表 .... 1 枚
○保証書 .... 1 枚
○ HD ユニット・ユーザーズマニュアル.. 本書

※本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

第１章　製品のご紹介

１．１　製品概要

本製品はUSB 2.0 High-Speed対応の外付け型ハードディスクユニットです。

■本製品の特徴

○転送モード識別表示ランプが搭載されています。本製品前面の「アクセス兼転送モード識別表示ランプ」の点灯色によって高速転送モード（USB 2.0 High-Speed）と、低速転送モード（USB 1.1 Full-Speed）をひと目で見分けることができます。

○USB 2.0ポートにつなぐことによって、USB 2.0のHigh-Speedの高速転送（480Mbps：理論値）を実現することが可能です。また従来のUSB 1.1ポートにも接続ができるので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

○LHD-EAxxU2シリーズはディスク回転数5400rpmの、LHD-HAxxU2シリーズはディスク回転数7200rpmのハードディスクをそれぞれ採用しています。

○パスワードロックによるシークレット機能を搭載しています。４桁までの暗証番号を登録してハードディスクをロックし、大切なデータを第三者から守ることができます。（詳しくは第５章をご参照ください）

○PC電源連動機能を搭載しているので、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFを自動的に行います。また、パソコンが省電力モードやスタンバイモードになった場合も、自動的に電源がOFFになり、復帰時にONとなります。

○インターフェースとしてUSBを採用していますので、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONになっている状態での取り付け・取り外し）が可能です。

○美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、安定したパフォーマンスを実現しています。

重要なご注意

- ご使用のパソコンの使用によっては電源連動機能が正常に機能せず、電源が OFF にならない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源の ON/OFF を切り替えてください。
- 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。

参考

アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると厚く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。

１．２　使用環境について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のような環境条件を満たしていなくてはいけません。

■対応パソコンについて

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限ります。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン側のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini eMac iBook、iBook G4 iMac、iMac G5 Power Mac G5 Power Mac G4、Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue and White) PowerBook G4、PowerBook (FireWire) PowerBook G3（BronzeKeyborard）

■対応 OS について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

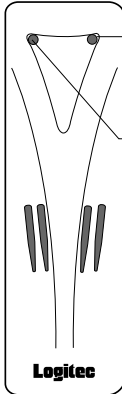
マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む）
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.0.4 以降
Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2
Mac OS 8.6

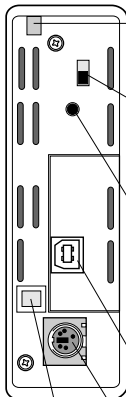
１．３　各部の名称と機能

本背品前面

①電源表示ランプ

本製品の電源が ON になると電源表示ランプが青色に点灯します。

②アクセス兼転送モード識別表示ランプ

USB 2.0 接続時は緑色に、USB 1.1 接続時はオレンジ色にそれぞれ点灯します。また、本製品にアクセスが行われるとUSB 2.0 接続時はオレンジ色に、USB 1.1 接続時は赤色に点滅します。

パスワード設定・入力時は、それぞれの状態を緑色・赤色・オレンジ色の点灯・点滅で表します。詳しくは第 5 章をご参照ください。

③盗難防止用ホール

盗難防止用にワイヤなどを取り付けておくことができます。

④電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。電源を ON の状態にすると、自動的に PC 電源連動機能が有効となります。
（PC 電源連動機能については第 6 章をご参照ください）

⑤ロックボタン

このボタンを使用してパスワードの設定／解除を行います。前面のアクセス表示ランプを確認しながら操作します。詳しくは第 5 章をご参照ください。

⑥ USB シリーズ B コネクタ

付属のUSBケーブルでパソコン本体のUSBポートと接続します。

⑦電源コネクタ

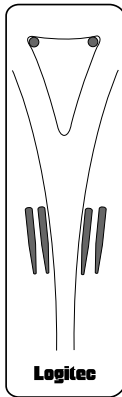
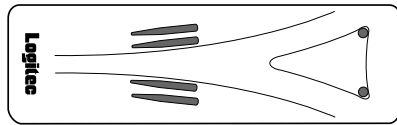
付属の AC アダプタを使用して AC100V のコンセントと接続します。

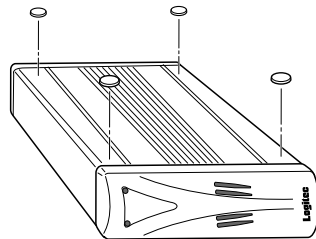
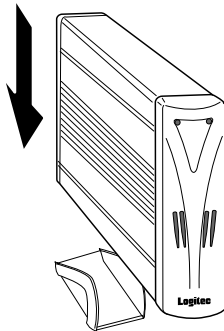
⑧ケーブル抜け防止フック

ACアダプタのコードがコネクタから抜けるのを防止するためのフックです。

１．４　設置方向について

1

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置するとトラブルの原因となる場合があります。

縦置きの場合

縦置きの場合は、本製品付属のスタンドをご使用ください。（下左図）横置きの場合は、底面の４箇所に付属のゴム足を貼付けしてください。（下右図）

上図は底面を上にするため、設置方向とは逆になっていますのでご注意ください。

１．５　接続の前に

■本製品の出荷時フォーマット形式についてのご注意

本製品は出荷時にDOS（FAT32）形式でフォーマットされていますので、パソコンに接続すればすぐにアクセスすることができますが（Windows環境に限る）、なるべく各OSに最適なフォーマット形式で再フォーマットすることをお勧めします。

①本製品をWindows XP、2000のみでご使用になる場合、NTFS形式でフォーマットしてください。

②本製品をMacintoshのみでご使用になる場合は、HFS+（Mac OS 拡張）で初期化してください。

③ WindowsとMacintoshの両環境で共有したい場合はDOS（FAT32）形式で１パーティションの容量を120GB以下にしてください。（ただし、Mac OS X 10.0.4 〜 10.1.5では共有できません）

その他の環境または、複数のOSでご使用になる場合は、DOS（FAT32）のままご使用ください。ただし、以下の点にご注意ください。

○ DOS形式でフォーマットされたハードディスクをMacintoshでアクセスするにはMacintosh標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。（Mac OS X 10.0.4 〜 10.1.5は未対応です。）

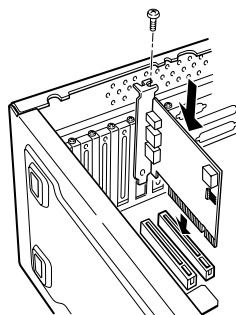
○ Macintosh環境に接続したハードディスクをWindows環境に再接続して、スキャンディスク（Windows標準の検査ユーティリティ）を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」するとMacintosh環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、**絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。**

○ Windows／Macintosh間でのデータ交換は、**あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。**MacOS本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

1

■ USB 2.0 インターフェースボードの接続

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェースボード（PCI 用インターフェースボード、もしくはCardBus 対応USB 2.0 インターフェースカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に USB 2.0 インターフェースボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度は従来の USB 1.1 と同様 Full-Speed（12Mbps）になります。）

USB 2.0 インターフェースボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI **バス用** USB 2.0 **インターフェースボード**

型番	バス	備考
LHA- USB2V	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98, 2000対応
LHA- USB2NH	PCI	インターフェースボード単体 Windows、 Mac OS X 10.2.8 以降対応

CardBus **対応** USB 2.0 **インターフェースカード**

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2HA	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

第２章　製品の使い方

本章では、本製品を接続と取り外し方法についてご説明いたします。

２．１　接続について

本製品の接続は以下の手順で行ってください。

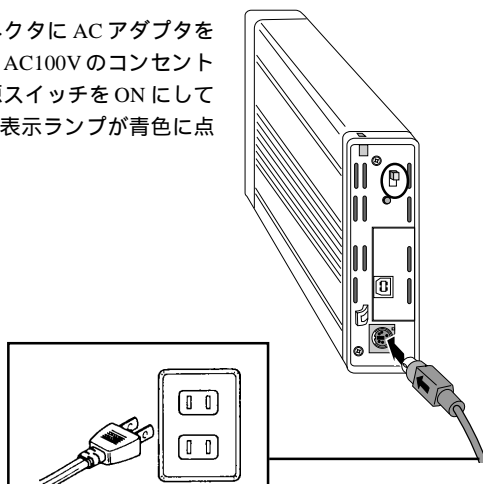
■確認事項

○接続先のパソコンに USB 2.0 拡張ポートがある場合はそちらに接続してください。

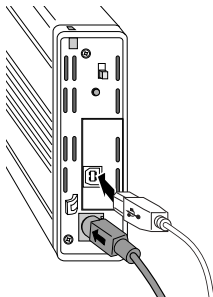
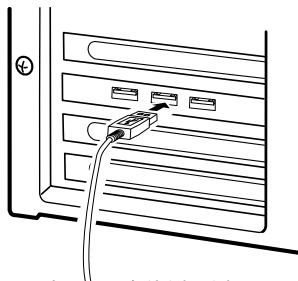
○ USB 2.0 拡張ポートがない場合、USB 1.1 ポートへ接続してください。その場合の転送速度は Full-Speed（12Mbps）までとなります。

■接続の手順

①パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動**してください。**
このときWindows XP**，**2000**をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「**Administrators**」グループ等）としてログオンしてください。**

②本製品背面の電源コネクタに AC アダプタを接続し、電源プラグを AC100V のコンセントに接続し、背面の電源スイッチを ON にしてください。前面の電源表示ランプが青色に点灯します。

AC100V **のコンセントへ**

③付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズＢコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。

※下のパソコンの図はDOS/Vパソコンを元にしていますが、USBポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンのUSBポートを確認して接続してください。）

本製品側
断面が正方形に近いコネクタ

パソコン本体側の例
断面が平たいコネクタ

以上で、接続は終了です。

この後の作業はOS毎に異なります。以下をご参照ください。

■接続後の作業

○Windows XP, Me, 2000には本製品をUSBインターフェースで使用するためのドライバが含まれています。そのため、本製品を接続すると自動的にドライバがインストールされます。結果を確認しますので「2.2　動作の確認」へお進みください。

○Windows 98の場合は、本製品付属のドライバをインストールする必要があります。「第３章ドライバのインストール方法」へお進みください。

○Macintosh環境でご使用の場合は本製品のフォーマットを行う必要があります。第４章のフォーマット手順をご参照ください。ただし、Mac OS 8.6をご使用で以下のようなメッセージが表示された場合は、フォーマットを行う前に「第３章ドライバインストールの方法」を参照してドライバをインストールしてください。

２．２　動作の確認

接続が終了し、必要な作業を行ったら、本製品が正常に認識されいるかを確認します。

■ Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリックします。マイコンピュータに左のようなハードディスクドライブのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。

■ Windows Me，98, 2000 の場合

デスクトップの「マイコンピュータ」のアイコンをクリックします。左のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。（アイコンに付く名前は OS により異なります。）

Mac OS 9.2.2まで

Mac OS X 10.0.4 以降

■ Mac OS の場合

デスクトップに左のようなアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され使用可能な状態にあります。

Point **ポイント**

アクセス兼転送モード識別表示ランプによって、認識されている転送モードを確認することができます。

- **高速転送モード（**USB 2.0 High-Speed**）接続時　：緑色**
  アクセス時　：オレンジ色
- **低速転送モード（**USB 1.1Full-Speed**）接続時　：オレンジ色**
  アクセス時　：赤色

２．３　本製品の取り外しについて

本製品はホットプラグ（パソコンの電源がONの状態での取り付け、取り外し）が可能です。取り外しは以下の手順で行います。

■ Windows の場合

①本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開いていないことを確認します。

②タスクトレイ上の以下のアイコンをクリックします。

※ Windows 98 **をご使用で上のアイコンが表示されない場合は、本製品のアイコンを右クリックしてください。**

③表示される以下の項目をクリックします。

Windows XP **の場合**
・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ（d:）を安全に取り外します」

Windows Me **の場合**
・「USB ディスク - ドライブ（d:）の停止」

Windows 98 **の場合**
・「***** ****** を止める：ドライブ（d:）」

Windows 2000 **の場合**
・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ（d:）を停止します」

Point **ポイント**

- **ここで** (d:) **は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。**
- **また、**Windows 98 **で表示される「***** *****」には本製品内蔵の** HD **ドライブの型番が入ります。**

④Windows XPでは本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されたら取り外しが可能となります。（このメッセージはしばらくすると自動的に消えますので特に操作する必要はありません。）

Windows Me，98，2000 でも本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

⑤本製品の電源が自動的に OFF されます。USB ケーブルをパソコンから取り外してください。

以上で取り外し作業は終了です。

■ Macintosh の場合

本製品を取り外す前に必ずアンマウントという処理を行います。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

・本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
・本製品のアイコンを１回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
・本製品のアイコンを１回クリックして選択状態にし、アップルキー＋「Y」キーを押す。

○パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

○本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

第3章　ドライバのインストール

３．１　Windows 98 の場合

①接続が完了すると、本製品がプラグ＆プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック

②右のウィンドウが表示されます。

1. **「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で**
2. **「次へ」をクリック**

③右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵のCD-ROMドライブに本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをセットしてください。

1. **「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして**
2. **ここに、半角英数字で以下のように入力して**

D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98

3. **「次へ」をクリック**

ポイント

ここで「D:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。
ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「LogitecWare」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。

④右のウィンドウが表示されます。

⑤必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

以上でドライバのインストールは終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。マイコンピュータに右のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。

３．２　Mac OS 8.6 の場合

　標準ドライバで認識されない場合はいったんコンピュータの電源を切り、本製品を取り外してから、以下の手順でUSBドライバのインストールを行ってください。

①**本製品を接続していない状態で**、Macintoshのシステムを起動してください。

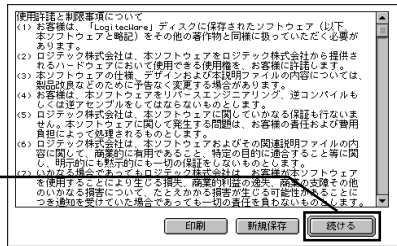
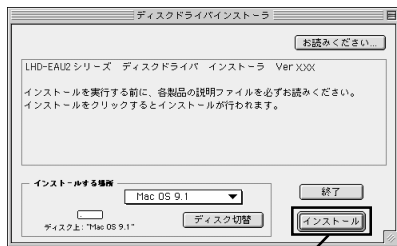
②「Logitec Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、デスクトップ上でCD-ROMを開き、次の手順でCD-ROM内のフォルダを開いてください。

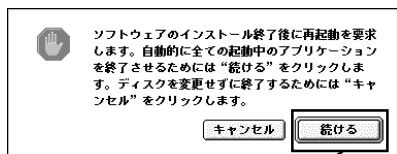
「Drivers」→「LHD-EAU2」

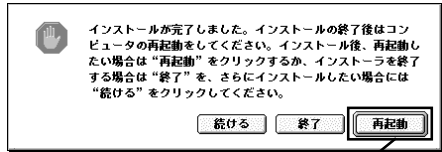
③LHD-EAU2フォルダを開いたら、フォルダ内に保存されている「ディスクドライバインストーラ」をダブルクリックしてください。

3

④右のウィンドウが表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「続ける」をクリック

⑤付属のフォーマッタをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障がない場合はそのままインストールをクリック

⑥インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認のメッセージが表示されます。

他のプログラムが起動してないことを確認したら、「続ける」をクリック

⑦必要なファイルが転送され、終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック

以上でドライバのインストールは終了です。第２章を参照して本製品の接続を行ってください。

第４章　ハードディスクのフォーマット

本章では，各 OS ごとにハードディスクのフォーマット手順をご説明いたします。フォーマットを行うと、ハードディスクの中のデータはすべて消去されます。重要なデータはあらかじめバックアップをとって置いてください。

４．１　Windows XP，2000 でのフォーマット手順

WIndows XP，2000 では各 OS に標準のユーティリティ「ディスク管理」から行います。

ディスク管理をを起動するには管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ）としてログオンした後に、「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、コンソールツリー上で「ディスクの管理」をクリックしてください。（ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

「ディスク管理」からのフォーマット方法については Windows のヘルプファイルをご参照ください。

4

Point

ポイント

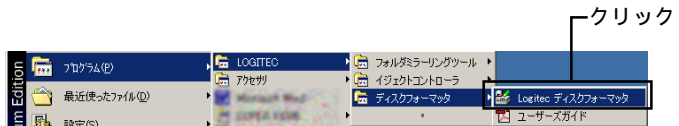
本製品付属の CD-ROM に保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。（下記のファイルをダブルクリックするとブラウザ上で内容を表示することができます。）

- Windows XP　→　¥Docs¥Hdfmtxp.htm
- Windows 2000　→　¥Docs¥Hdfmt2k.htm

４．２　Windows Me，98 でのフォーマット手順

Windows Me、98 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「Logitec ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」をインストールしてください。

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」→「Logitec」→「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。（デフォルトの状態でインストールした場合）

ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。

ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

４．３　Mac OS X でのフォーマット手順

■Mac OS X 10.0.4～10.1.5 で本製品をはじめて接続してフォーマットする場合

①Mac OS X 10.0.4～10.1.5 の場合、本製品を初めて接続すると「今セットしたディスクは Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックしてください。

③「Disk Utility」が起動します。

④後の手順は Mac OS X のヘルプを参照して初期化を行ってください。

■Mac OS X 10.2 以降の場合

本製品は出荷時 DOS（FAT32）形式でフォーマットされていますので、下の「本製品を再フォーマットする場合」を参照して、Mac OS 拡張にて再フォーマットを行ってください。

※ 120GB を越える容量の本製品の場合、接続しても容量制限の問題からマウントされません。この場合も再フォーマットを実行してください。

4

ポイント

Point

Mac OS でフォーマット（初期化）する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

■本製品を再フォーマットする場合

Mac OS X 10.1.5 までの場合、本製品を再フォーマットする場合も「Disk Utility」を使用します。「Disk Utility」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」→「Utilities」→「Disk Utility」を選択してください。

Mac OS X 10.2 以降の場合は「ディスクユーティリティ」を使用します。「ディスクユーティリティ」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「ディスクユーティリティ」を選択してください。

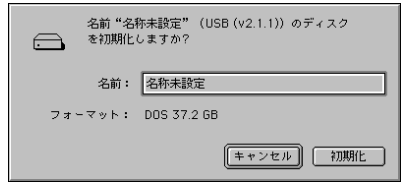
※フォーマットが終了すると、デスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。（「２．２　動作の確認」参照）

４．４　Mac OS 9.0.4～9.2.2 でのフォーマット手順

Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 では以下の手順でフォーマットを行います。

①デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしてください。

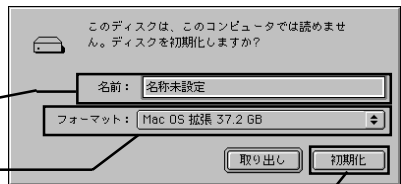
②右の画面が表示されますので、必要に応じて「名前」入力して「初期化」ボタンをクリックしてください。

※フォーマット形式は DOS のままです。

■フォーマット形式を変更する場合

①「アップルメニュー」から「コントロールパネル」→「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」してコンピュータを再起動してください。

4

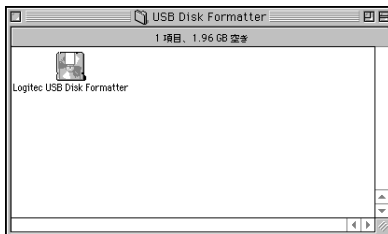
②パソコンが再起動すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。（下図参照）

③ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、初期化ボタンをクリックします。

ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンの Mac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

４．５　Mac OS 8.6 でのフォーマット手順

　Mac OS 8.6 の場合はドライバインストール時に同時にインストールされた「USB Disk formatter」を使用してフォーマットを行います。（Mac OS 8.6 を使用していても標準で認識された場合は「４．４ Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 でのフォーマット手順」をご参照ください。

①本製品を接続した状態で、ドライバインストール時に作成された「USB Disk Formatter」を開き、「Logitec USB Disk Formattet」アイコンをダブルクリックしてください。

②フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。

本製品は DOS フォーマットで出荷されているため、「フォーマット」の欄に「MS-DOS」と表示されます。

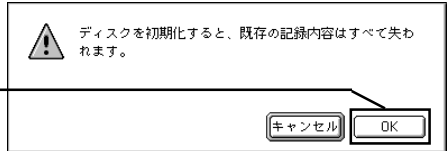
内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。

③右下のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。

ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

④確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

⑤フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、右のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。

⑥以上で本製品のフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。

参考

フォーマッタのウィンドウで表示される「マウント」ボタン、「アンマウント」ボタンは、本製品を強制的にマウント、もしくはアンマウントするためのものです。

- **何かの原因で、本製品を接続してもボリュームが自動的にマウントされない場合は、「マウント」ボタンをご使用ください。**
- **何かの原因で、通常の手段（次節参照）で本製品がアンマウントできなくなってしまった場合は、「アンマウント」ボタンをご使用ください。**

第５章　パスワードの設定

本製品にはパスワードロック機能がついています。パスワードを設定しておけば盗難や紛失時にハードディスクの中に保存されたデータの漏洩を防ぐことができます。

■パスワードロック機能の特徴

○パスワードの設定および認証は、本製品背面のロックボタンで行いますので、特別なソフトウェアなどは必要ありません。ハードディスク自身がパスワード情報を保持しますので、例え分解されても、データを不正にコピーされることはありません。

○パスワードを設定すれば、電源が入るたびにパスワードを入力しなければならないため、設定を知らない人に使用される心配はありません。

○パスワード設定時および設定後は「アクセス兼転送モード識別表示ランプ（以降アクセス表示ランプと省略します）」が状態に応じて以下のように変化します。

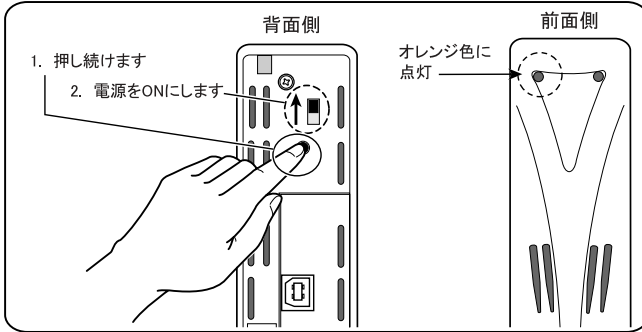
動作状態	アクセス表示ランプ	電源表示ランプ
通常動作時 パスワード未設定時の電源投入後	消灯、またはパソコンに接続済みの場合は、転送モードによる	点灯
設定する新しいパスワードの入力待ち	オレンジ色 ・ 点灯	点灯
設定する新しいパスワードの入力中	オレンジ色 ・ 点滅	点灯
パスワードの入力待ち	赤色 ・ 点灯	点灯
パスワード入力中	赤色 ・ 点滅	点灯
動作停止	消灯	消灯

重要なご注意

- **本書巻末にはパスワード控え欄を用意してあります。この欄に設定したパスワードを書きとめるなどしてパスワードを忘れないようにしてください。パスワードを忘れた場合、本製品に保存されているデータには一切アクセスできなくなります。**
- **パスワード設定後、そのパスワードを入力して本製品にアクセスできるかを何回か確認してからご使用になられることをお勧めします。**
- **パスワードを忘れた場合、弊社でも工場出荷時に戻す以外の対応はいたしかねます。その場合ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されますので十分にご注意ください。**

パスワードを設定しない場合は通常のHDとしてご使用いただけます。

■パスワードを新規に設定する方法

① AC アダプタを接続して、背面のロックボタンを押しながら、本製品の電源を ON にしてください。アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯します。

②アクセス表示ランプがオレンジ色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

③次に、パスワードを入力します。

パスワードは１～９までの数字を１～４桁までの範囲で設定します。

例）パスワードを「5、3、2、3」と設定する場合、

1）**ロックボタンを押すとアクセス表示ランプが点滅をはじめるので、この点滅中に、５回ロックボタンを押してください。**

※　**点滅中に５回連続してすばやく押してください。間隔をおいて５回押すと、「1,1,1,1,1」と認識してしまい、本製品の電源が OFF になります。（パスワードは設定されません）**

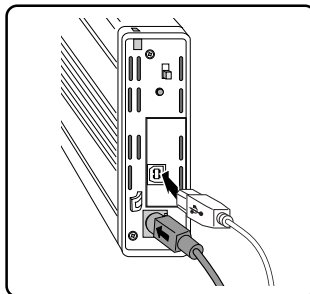
2）**数秒時間をおいて、アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯したら、同じようにロックボタンを３回すばやく押してください。**

3）**同様の手順で 2、３と設定を行ってください。**

4）**最後に設定を確定させるため２秒以上ボタンを押し続けます。アクセス表示ランプが緑色に点灯したらパスワードの設定は完了です。**

「5、3、2、3」の場合のボタンの押し方	2秒以上 ５回押す………３回押す………２回押す………３回押す………長押し
設定中のアクセス表示ランプの変化について	**パスワード入力中はアクセス表示ランプがオレンジ色に点滅、入力待ちの状態のときはオレンジ色に点灯します。**設定中はこの点滅と点灯が繰り返されます。最後に２秒以上ボタンを押し続けると緑色に点灯し、設定が完了します。 ※　点滅はボタンを押した回数とは関係がありません。押した回数は設定した本人しか分からないようになっていますので忘れないようにしてください。

■パスワードを設定後に本製品を使用する場合

①ACアダプタを接続し、本製品の電源をONにして、付属のUSBケーブルを使用して本製品とパソコンを接続します。

②アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

③設定したパスワードを入力し､最後にロックボタンを２秒以上長押しします。

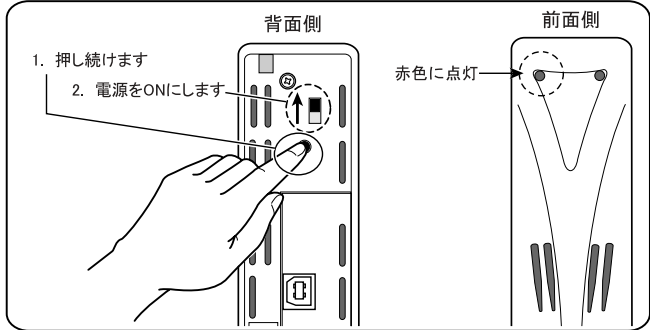
④アクセス表示ランプが緑色に点灯します。これでハードディスクが使用可能な状態になります。

※パスワードを誤って入力した場合は本製品の電源がOFFになります。その場合は、いったん電源スイッチをOFFにし、再度ONにして正しいパスワードを入力してください。

重要なご注意

- **パスワードを設定後は、本製品の電源がONになった時に必ずパスワードを入力しなければなりません。パスワードを入力しなければ本製品にはアクセスできません。**
- **本製品はPC電源連動機能を搭載しているため、ハードディスクの電源をONにしても、すぐにパソコンに接続しないと、しばらくして自動的に電源がOFFになります。このような場合、パソコンに接続後に再度パスワードを入力する必要があります。**
- **省電力モードやスタンバイモードから復帰したときに､パソコンによって､パスワードを要求する場合としない場合があります。これはパソコン本体の省電力モードの仕様によるもので､本製品の異常ではありません。確実にパスワードロックしたい場合は、本製品の電源スイッチをOFFにしてください。**

■パスワードを変更する

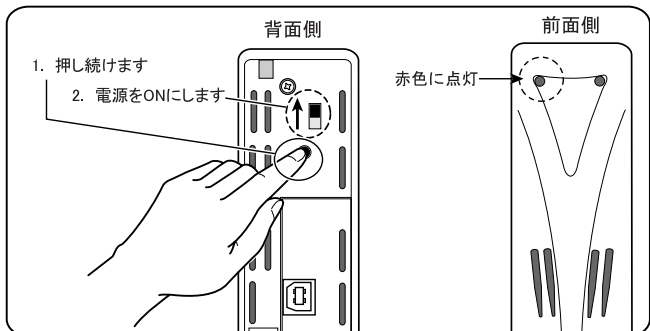
①ACアダプタを接続し、背面のロックボタンを押しながら本製品の電源をONにしてください。アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

②アクセス表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

③既に設定されているパスワードを入力し､最後にロックボタンを２秒以上長押しします。

④アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯します。

⑤この後は「■パスワードを新規に設定する方法」の手順③と同じように新しいパスワードを入力し、最後にロックボタンを２秒以上長押しして設定を確定させます。アクセス表示ランプが緑色に変化したら新しいパスワードが設定されます。

■パスワードを無効にする

①ACアダプタを接続し、背面のロックボタンを押しながら本製品の電源をONにしてください。アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

②アクセス表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

③設定したパスワードを入力し、最後にロックボタンを２秒以上長押しします。

④アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯したら、いったんボタンから指を離し、再度ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが緑色に点灯したら、パスワードが消去されます。

■パスワードを忘れた場合は…

パスワードを忘れた場合は、以下の方法で設定したパスワードを解除することができます。ただし、解除と同時にハードディスクも再フォーマットされ工場出荷時の状態に戻ります。ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されてしまいますので、取扱いには十分ご注意ください。

① AC アダプタを接続し、本製品の電源を ON にしてください。

②アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

③ここでパスワードを「10、10、10、10」と入力します。入力中はアクセス表示ランプが赤色に点滅します。

④入力後アクセス表示ランプが赤色に点灯したことを確認し、入力したパスワードを決定するために、ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが赤色に点滅し、２秒以上経過すると赤色に点灯します。点灯後いったんボタンから指を離してください。

⑤再度ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが赤色に点滅し、２秒以上経過するとオレンジ色に点灯します。点灯後、ボタンから指を離します。

⑥パスワードが消去され、ハードディスクが初期化されます。終了すると、アクセス表示ランプが緑色に点灯します。

以上でパスワードの解除は終了です。

第6章　補足事項

6．1　PC 電源連動機能について

本製品は PC 電源機能を搭載していますので、接続先のパソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源の ON/OFF が切り替わるようになっています。いったん本製品の電源を ON にしてパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源も ON/OFF されます。

本製品の ON/OFF は下表のように切り替わります。

動作	電源の状態
電源スイッチをONにした時	ON
起動中のパソコンに接続した時　*1	ON
接続先のパソコンの電源をONにする　*1	ON
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰したとき　*1	ON
USBケーブルを外した時 *1	OFF
パソコンがシャットダウンした時　*1	OFF
パソコンが、スリープや省電力モードになった時　*1	OFF　*2
電源スイッチをOFFにした時	OFF

*1　**本製品の電源スイッチが ON の状態での動作になります。**

*2　**省電力モードやスタンバイモードから復帰したときに、パソコンによって、パスワードを要求する場合としない場合があります。これはパソコン本体の省電力モードの仕様によるもので、本製品の異常ではありません。**

ご注意

パスワード入力待ちの状態の場合、本製品の電源スイッチを OFF にしない限り電源は OFF になりません。

6

６．２　トラブルシューティング

●本製品を接続したが認識されない。

○電源スイッチの状態､電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。
○ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
○ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
○本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB ポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。
○ご使用の OS によって使用（認識）できるファイルシステムとパーティションの容量に制限があります。以下の表で、接続先のパソコンに搭載されている OS が本製品のファイルシステムを使用可能かご確認ください。

OS	ファイルシステム		
	NTFS	FAT32	HFS
Windows 98	×	○	×
Windows Me	×	○	×
Windows XP	○	○　*1	×
Windows 2000	○	○　*1	×
Mac OS　*3	×	○　*2	○

*1 Windows XP、2000 **上でフォーマットする場合、**32GB **までしか確保できません。（**Windows Me、98 **上でフォーマット済みのものはそのまま認識できます。）**
*2 Mac OS **の場合、**120GB **までしか認識されません。**
*3 Mac OS X 10.0.4 **～** 10.1.5 **の場合、**FAT32 **形式は認識されません。**

6

●本製品の電源を入れるとアクセス兼転送モード識別表示ランプが赤く点灯し、認識されない。

○パスワードロック機能により、ロックされています。正しいパスワードを入力して解除してください。
○パスワードが不明な場合は本書 35 ページ「パスワードを忘れた場合は…」を参照して､パスワードの消去をしてください。この場合､ハードディスク内部のデータは全て失われます。

●Windows XP，2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

○「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログオンしていなければなりません。

●スリープ状態から復帰できない。

○パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。
アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能を OFF にしてご使用ください。

●本製品の物理フォーマットができない。

○本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

●特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で本製品を使用できない。

○一部のユーティリティソフトウェアでは、USBのようなホットプラグ対応のインターフェースで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせて、そのソフトウェアが USB 接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

●アクセス兼転送モード識別表示ランプで USB2.0 接続か USB1.1 接続かを確認できない。

○ USB のドライバは正常にインストールされていますか？アクセス兼転送モード識別表示ランプは OS 上で USB 2.0 または USB 1.1 のドライバが正常に読み込まれてはじめて点灯します。

●データの転送速度が遅い。

○USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか？アクセス兼転送モード識別表示ランプが緑色に点灯しているか確認してください。オレンジ色に点灯している場合は低速転送モード（USB 1.1 Full-Speed）で動作しています。
○USB 1.1のポートに接続されている場合、データの転送速度はFull-Speed(12Mbps）までとなります。High-Speed（480Mbps）でデータ転送を行うにはUSB 2.0 ポートにつなぎかえてください。
○パソコン本体にUSB 2.0 ポートがない場合は別売りのUSB 2.0 インターフェースボード（PCI 用インターフェースボード、もしくはCardBus 対応USB 2.0 インターフェースカード）を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

● Macintosh 環境で 本製品のドライバをアンインストールしたい。

○システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

・Logitec USB-C1 Shim
・Logitec USB-C1 Driver

●その他：弊社ホームページについて

○弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：http://www.logitec.co.jp/

6

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

■ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

- パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。
- ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電気的に強磁気破壊方式（※）により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

※ 磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ（http://www.logitec.co.jp)**をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。**
（技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願いします。）

〒396-0192　**長野県伊那市美すず六道原**8268
ロジテック株式会社　　　ロジテックサポートソリューション
データ消去サービス係　５番受入窓口
TEL：0265-74-1423 / FAX：0265-74-1403

参考

付属のLogitec HDサポートディスク内に収録されている、「ディスクデータイレイサ」（Windows環境のみ）を使用することで、ハードディスク上のデータを全て消去する事ができます。消去後に再フォーマットすることにより再利用が可能です。消去されたデータは、パソコンでは読み取り不能となります。ただし、ソフトウェアによる消去の場合、専門機関等の特殊な環境でもデータが復元されないことを、保証するものではありません。

■パスワード控え欄

　設定したパスワードを忘れると、ハードディスクに保存したデータにアクセスできなくなります。この欄にパスワードを書きとめて忘れないようにしてください。

※パスワードを忘れた場合は、パスワードを解除することにより再度本製品にアクセスできるようになります。ただし、**パスワードを解除する際、ハードディスクは再フォーマットされ保存されているすべてのデータは消去されます**のでご注意ください。詳しくは「第５章　パスワードの設定」の「■パスワードを忘れた場合は…」をご参照ください。

■保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

○保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

○保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

○修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。（故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。）

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原8268

ロジテック株式会社　伊那サービスセンター（３番受入窓口）

TEL.　0265-74-1423　　**※祝祭日を除く月～金曜日**
FAX.　0265-74-1403　　9:00～12:00、13:00～17:00

※　修理納期以外のお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

※　お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

○保証期間経過後の修理については、有償となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後５年間です。

○サービスをご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

①お名前、住所、電話番号
②保証書に記載された機種名、シリアルNo.
③故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア（なるべく詳しく）

■お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。なお、回線が混み合いご迷惑をおかけすることもございますので、そのような時には、FAXにてお願い致します。その際、上記 ①～③の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意：　電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号／FAX番号をご記入ください。

※お問い合わせ先

ロジテック株式会社　テクニカルサポート

TEL.　03-5326-3667**（東京）**　　**※祝祭日を除く月～金曜日**
FAX.　0265-74-1456**（長野）**　　9:30～12:00、13:00～17:00

※間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitec　HD ユニット・ユーザーズマニュアル

２００５年　　7月改訂　　LHD-EAU2 V03B
製造元：ロジテック株式会社